

1

NEWS

新たなスタートに胸膨らます  
小・中学校入学式、こどもセンター入園式

村内小・中学校の入学式は、四月六日に各校で行われました。今年、鮫川小に二十三人(男子十二人、女子十一人)、青生野小に二人(女子二人)、鮫川中に三十四人(男子十七人、女子十七人)が入学しました。各小学校の入学式では、真新しいランドセルを背負い、初めて小学校に登校した児童たちは、式で名前を呼ばれると元気な声で返事をし、入学が許可されました。

また、さめがわこどもセンターの入園式は四月九日、同センター体育館で行われ、保育園に十九人、幼稚園に三十五人が入園しました。式では、園歌を全員で歌ったあと、保護者が見守る中、園児一人ひとりが名前を呼ばれ、園児たちは元気よく「はい」と返事をしました。また、あやめ組の園児が歌を元気いっぱい披露し、新入園児たちを歓迎しました。



保護者、先生と集合写真を撮る青生野小の1年生



担任の先生とあいさつをする鮫川小の1年生



緊張した様子の鮫川中の1年生



元気に園歌を歌う幼稚園児たち

2

NEWS

田植えの準備作業を体験  
東京農業大学・第74回里山景観保全活動



堆肥の散布作業をする学生たち

東京農業大学の第七十四回里山景観保全活動は、四月二十一日、二十二日の二日間、村内で行われました。今回の活動には、学生など十五人が参加しました。初日は、富田地区で鈴木寛重さん(字馬場)の指導のもと、堆肥、肥料の散布作業を行いました。二日目は、鈴木芳保さん(字大石草)のハウスで野菜の収穫体験をしたあと、村内の景勝地を散策しました。



和紙で絵手紙をつくった子どもたち

3

NEWS

地域の名人に学ぶ  
「地域コミュニティーサロン」を開設しました

安心子ども基金事業「地域コミュニティーサロン」は三月二十六日・二十七日・二十九日、村公民館で行われ、子どもたちが名人の技を学びました。鈴木米子さん(字新宿)に絵手紙を習ったり、青戸彦磨さん(字前沼)と将棋対決をしたりするなど、地域の方と交流を深めました。村教育委員会では、今後も子どもたちに「技」を伝授する講座を実施していく予定です。

4

NEWS

遅霜に注意してください  
農林課内に防霜対策本部を設置

水稲や野菜の作付けが始まる時期になり、遅霜による農作物

の被害が発生しやすい時期になりました。



役場玄関前に看板を設置する大樂村長

村では、四月七日付で農林課内に防霜対策本部(本部長・大樂村長)を設置。霜注意報が発令されたときの周知や、被害が発生した場合の対策を行います。農作物に被害が発生した場合は、防霜対策本部(☎49-3114)までお知らせください。

5

NEWS

鮫川での研究成果まとまる  
「里山の自然とくらし福島県鮫川村」が完成

東京農業大学短期大学生活科学研究所から、同研究所が編



寄贈された「里山の自然とくらし福島県鮫川村」

集した「里山の自然とくらし福島県鮫川村」が寄贈されました。この本は、平成十二年から四年間、鮫川村を対象として実施された生活科学プロジェクト研究の一つ「多機能的効果論からみた「田んぼ(谷戸田)」の価値を探る」の研究結果をわかりやすく編集したものです。村民の暮らしやさまざまな名人的話など、興味深い話が数多く掲載されています。